

# 大会宣言

全国小学校理科研究協議会は、発足以来、全国各地の小学校における、実践的な研究の交流を通して会員相互が高め合い、望ましい理科教育の在り方を追究してきた。

ここに第47回全国小学校理科研究大会・北海道大会を開催するにあたり、大会主題を「知識基盤社会の時代を切り拓く人間を育てる理科教育」と設定し、本大会開催の趣旨と全会員の総意に基づき、次のように宣言する。

## 記

- 1 本会は、全国都道府県の研究団体並びに行政機関と協力し、緊密な連携のもとに望ましい小学校理科教育の創造に努める。
- 2 本会は、「知識基盤社会」と言われるこれからの社会において、知を更新し、それを活用できる人間の育成を目指す。そのために、子どもが自然に興味をもち、自ら問題を見出し、豊かな感性と創造的な思考を働かせて問題を解決する学習活動を重視する。また、自然への理解を通して、環境への関心を高められるように努める。さらに、自然に対する科学的な見方や考え方が深まる学習活動を重視し、子どもの発達に即した、楽しく充実した学習活動の実現に努める。
- 3 本会は、これまで積み重ねてきた研究成果と学習指導要領の趣旨を受け止め、北海道大会の研究主題を「科学の可能性を見いだし、自然と向き合う問題解決」と設定し、子ども一人一人の問題解決能力の育成と、思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- 4 本会は、教育課程の基準に即して、子ども一人一人の学習活動が充実できるように、施設・設備や教材・教具等の改善・充実を進め、学習環境の整備に努める。そのために、理科教育設備基準による理科設備整備費及び小額設備費の活用を促進する。  
また、理科教育の充実のため、人的・物的支援を引き続き強く要望していく。
- 5 本会会員は、基礎基本の定着と確かな学力の育成を目指し、常に研究と修養に励み、実践的な研究を通して、現職教育の充実を図り、教師としての資質や能力の向上に努める。

平成26年10月16日

**第47回 全国小学校理科研究大会・北海道大会**